

花

いまと
新潟大学の魅力と現在を発信
新潟大学季刊広報誌 [RIKKA]
2022.SUMMER
NIIGATA UNIVERSITY MAGAZINE No. 41

アニメ中間素材に 秘められた創造性

特集
—新潟大学アニメ・アーカイブ研究センターの現在—

授業紹介 -教育の現場-

Enjoy! 学生ライフ

注目される研究報告

教員によるコラム“知見と生活のあいだ”

新大メモリアル写真館 あのとき、あの場所

基金関係のお知らせ

Campus Information



Cover Photo

『夢戦士ウイングマン』の絵コンテに挟まれていたメモ。「BANK」と呼ばれる、他のエピソードとの兼用素材についての指示が記載されている。
「渡部コレクション」から。

特集

アニメ中間素材に秘められた創造性 —新潟大学アニメ・アーカイブ研究センターの現在—



学術研究対象としても国際的に高く評価され、注目を集めている日本のアニメ。

新潟大学アニメ・アーカイブ研究センターではアニメ中間素材の保存・分析・活用等に係る特色ある研究活動を展開している。

アニメ制作の実態とアニメ文化の継承の意義や、他分野への活用の可能性、将来の展望について特集する。

アニメ制作過程の 資料を保管・分析

2016年4月に発足した新潟大学アニメ・アーカイブ研究センターでは、アニメ演出家・渡部英雄氏より管理と保存を一任さ

れた。本センターは、それらの資料を整理・デジタル化し保全す

ることで、日本のポピュラーカル

チャーにおいて重要な「翼」を担つ

てきたアニメのアーカイブ化を行

い、国内・国外研究者に閲覧可

能な研究拠点として整備することを目的としている。アニメの

制作過程について実証的かつ理

論的な研究が可能な国際的ア

ニメ研究拠点の形成に向けて、中

心となる経済科学部／アジア連

携研究センターの石田美紀教授

とキム・ジュニアン准教授に聞いた。

セントラル発足のきっかけになっ

たのは「渡部コレクション」。ア

ニメ演出家であり現在は大学にお

いてアニメ制作を指導している渡

部英雄氏から管理と整理を一任されたアニメ中間素材だ。渡部

氏は、「宇宙大帝ゴッドシグマ」、

「わが青春のアルカディア無限軌道S S X」、「夢戦士ウイングマン」、「G Iジョー」(日米合作)、「II人いる!」「北斗の拳2」、「機動戦士Ζガンダム」、「機動戦士ΖΖガンダム」、「銀河英雄伝説」、「新世界ヴァンガード」など多くの制作現場で中核的スタッフとして活躍してきた人物。氏が所有してきた中間素材は、作品を

していったアニメ制作における貴重な一次資料だが、作品完成後の現場では資料の保管に苦渋しており、散逸の危機にさらされてき

る。『中間素材』とは、アニメ作品が完成に至るまでに必要なシナリオや絵コンテ、各種設定集、原画、セル画などのこと。これらは作品制作における貴重な

一次資料だが、作品完成後の現場では資料の保管に苦渋している。

「中間素材」は、アニメ作

品が完成に至るまでに必要なシ

ナリオや絵コンテ、各種設定集、

原画、セル画などのこと。これ

らは作品制作における貴重な

一次資料だが、作品完成後の現

場では資料の保管に苦渋してお

り、散逸の危機にさらされてき

る。『中間素材』とは、アニメ作

品が完成に至るまでに必要なシ

ナリオや絵コンテ、各種設定集、



膨大な中間素材は封筒に入れられ保管されている

アニメ研究の国際的拠点を目指す

新潟大学アニメ・アーカイブ研究センターが掲げる目的の第一は、国内外のアニメ研究者が貴重な中間素材にアクセスし、研究に活用できるようにする 것입니다。つまり、アニメ研究の国際的研究拠点としての機能を果たしています。

「例えば絵コンテには制作における様々な指示や修正などが書き込まれています。それはマニアやコレクターだけが喜ぶものではありません。制作の進行状況、工程表が物的証拠として残り、学術的資料として二級のものなのです。個別のアニメ作品自体に愛着のない人でも学問として参画できる資料体であり、私たちのアニメ研究の視座には、方法や経済、科学技術も含まれています。例えば1980年代に

日本合同で制作された『GIGI』。中間素材からは両国ではメディア環境も経済的な環境も違つたことが分かります。そこにはアメリカ式の横組み絵コンテと日本式の縦組み絵コンテの間で試行錯誤したクリエイターたちの苦労を垣間見ることができます。また、国内のアニメ制作はアフレコが主流でしたところが、アメリカでは音声が先に録音されています。制作作業をアメリカより日本で行つたほうがコストが安くなるなど、当時の経済・政治的な状況や世界における日本の立ち位置も見えてきます」（石田教授）

国内外の研究者たちが 貴重な資料にアクセスし活用できる アニメ研究の国際的な研究拠点に

「例えば絵コンテには制作における様々な指示や修正などが書

き込まれています。それはマニアやコレクターだけが喜ぶもので

すことだ。

「アニメを特殊な国の文化と

して捉えるのではなく、メディア文化のひとつとしてアプローチすることが現在の世界の潮流です。欧米やアジアの大学で日本文化研究と言う際、その対象は源氏物語などの古典

ではなく、現代メディアを指す動きが現れている。海外研究者や学生にとってもアニメの

中間素材は魅力的な研究対象

だと思います」（キム准教授）

大なセル画や紙資料などのアニメ中間素材は、一点一点に記された書き込みや指示を漏らさずデジタルアーカイブ化が行われてきた。効率の良い検索と閲覧を可能にするために、データベースが構築された。また、

セントラルの立ち上げ以降、膨

大なセル画や紙資料などのアニメ中間素材は、実験に使う

ことができないため、紙とセル画が70年程度接着したままの状態を復元した試料を作製することから始めました。吸水率や温度などの条件を変えて剥離試験を行い、セル画を傷つけることなくきれいに剥がすための条件を摸索しています。この研究は、また、高分子材料の分子レベルでの接着メカニズムの解明にもつながります。

力的な素材であると言えます。研究チームには韓国やマレーシア出身者もいて、日本のアニメに詳しい海外研究者と話しています。意外な発見があります。それは海外からの視点を通して今まで知らなかつた日本を知ることにつながります」（石田教授）

セントラルの目的の第二は、大

学の教育現場での活用だ。センターが収蔵するアニメ中間素材は、2016年度から新潟大学の実習型講義に導入された。学

域に広がっていくことが証明

プロジェクトに参加する新潟大学教員から

**新潟大学自然科学系
(工学部材料科学プログラム)
三俣 哲 准教授**

セル画とセル画の間に挟まれた紙をきれいに剥がすための手法を探していきます。この世にひとつしかない貴重な原素材は実験に使う

ことができないため、紙とセル画が70年程度接着したままの状態を復元した試料を作製することから始めました。吸水率や温度などの条件を変えて剥離試験を行い、セル画を傷つけることなくきれいに剥がすための条件を摸索しています。この研究は、また、高分子材料の分子レベルでの接着メカニズムの解明にもつながります。

教育現場への活用と発展

重要な時期と重なっており、産業的・美学的側面からのアニメ研究の貴重な手がかりになります。キャラクターデザインから絵コン

テ、原画、セル画、背景画、脚本、アフレコ台本、さらにスタッフによる手書きのメモに至るまでアニメ制作の様々な段階と局面を示して

おり、海外からの受注関連素材も多く含まれています」（石田教授）

研究の専門家である石田教授

プロジェクトに参加する新潟大学教員から

**新潟大学経営戦略本部
評価センター
今井博英 准教授**

アニメ・アーカイブ研究センターで所蔵しているアニメ中間素材を、インターネットを通して研究者が検索・閲覧するためのデータベースシステムを開発しています。中間素材には様々なものがあり、セル画や絵コンテ等の画像や、アフレコ台本等の文書、さらに、それらに書かれた手書きのメモ等も貴重な資料となります。開発しているシステムは、中間素材を効率的に検索・閲覧でき、さらに、研究者から素材情報のフィードバックが得られるようなものを目指しています。



で開催された日本のサブカルチャーに関するコンファレンスで渡部先生が講演をされました。その後、私は2014年に新潟大学に着任し、ご縁あって先生に資料のことを再度伺う機会を得て、資料を保管・研究への有効活用に」とお申し出くださいました」（キム准教授）

2016年、それらの中間素材は「渡部コレクション」と命名され、新潟大学アニメ・アーカイブ研究センターが研究グループとして立ち上がった。これは映

と、アニメーション研究の専門家であるキム准教授という、アニメ中間素材に興味のある複数の研究者が学内にいたことが大きい。

アニメ中間素材が伝えるもの

中間素材には、デジタル化と

ともに失われた仕事や技術だけでなく、その時代の国際社会・日本社会の断面が刻まれている。制作現場で使用されてきたアニメ中間素材には、そのとき現場で何が起つていたのかを伝える痕跡が多くあり、そうした資料を直接分析することには非常に大きな意義がある。



見ていただけでは分からぬ関係者たちの生々しい試行錯誤を垣間見ることができるのだ。「渡部先生からお預かりした中間素材は、先生が制作に関わった年代までのもので、第2次・第3次アニメームというアニメ史上の重要な時期と重なっており、産業的・美学的側面からのアニメ研究の貴重な手がかりになります。

「2012年に韓国・ソウルで開催された日本のサブカルチャーに関するコンファレンスで渡部先生が講演をされました。その後、私は2014年に新潟大学に着任し、ご縁あって先生に資料のことを再度伺う機会を得て、資料を保管・研究への有効活用に」とお申し出くださいました」（キム准教授）

像研究の専門家である石田教授

センターへの期待

開志専門職大学
アニメ・マンガ学部
神村幸子 学部長



弊学部では、開学部前からアニメ・アーカイブを学部の中核研究と位置づけていました。そこで同じ新潟市にある新潟大学アニメ・アーカイブ研究センターを訪ね、先行研究に学ぶことから始めました。新潟市は「マンガ・アニメのまちにいがた」です。行政と連携するとともに今後もシンポジウムや学術研究、新潟国際アニメーション映画祭などで新潟大学と協働し、アカデミックな側面から新潟の文化ツーリズムの一翼を担っていきたいと考えております。



経済科学部と開志専門職大学アニメ・マンガ学部との学術交流協定調印式。
協定書を掲げる両学部長

「新潟大学は、個性ある最先端研究と多様な基礎研究を育む環境を整備する中で、ライフ・イノベーションに関わる全学の知識を集めた研究プラットフォームを作り、未来社会に向けて価値ある国際水準の研究を生み出していく研究志向型の大学となる」とある。

「アニメは国内外から関心が持たれている領域です。パッとした感じはキャラクターで、アプリケーションとしては魅力的な分野だと思います。決して軽々しくなく、海外からの留学生や研究者の間では文学や哲学のような重厚なも

の変化、発注内容や合作に見る国際関係などを幅広く学ぶことができる。モノとしての素材が語るアニメの現場、歴史、スタイル、美学についての知識を主体的に獲得することを狙いとしている。

第三は、地域や映像・アニメ業界と連携し、研究の成果を社会に還元することだ。センターが保管するアニメ中間素材とそのデジタルデータは、国内外のシンポジウムや論文発表、新潟・シンガポール・東京・スウェーデンでの『王立宇宙軍』中間素材展

はアニメ制作のプロセスを学ぶことで、表現方法はもちろん、流行や歴史、技術の進歩、働く環境、セルや絵の具などの素材の変化、発注内容や合作に見る国際関係などを幅広く学ぶことができる。学生が素材の分析を通して作品が生み出されるまでのプロセスを実証的に確認することで、モノとしての素材が語るアニメの現場、歴史、スタイル、美学についての知識を主体的に獲得することを狙いとしている。

アーカイブの果たす役割は複合的となり、いつそう重要なものになると期待しています」（キム准教授）

研究結果を社会に還元

センターへの期待

イギリス・グラム大学
ダリオ・ロッリ
助教授



アニメは日本文化のなかで最も創造的な領域です。しかし、私たちはこの形式のことをよく知りません。アニメの運動はどんな素材から生まれ出されるのか?どうすれば中間素材の劣化を防ぐことができるのか?設立以来、アニメ・アーカイブ研究センターはアニメ制作会社や文化行政担当者と積極的に対話しながら、これらの問題に取り組んできました。その先進的なアプローチから、同センターはアニメの国際的研究拠点として高く評価されています。

アニメ文化という世界共通の視点 世界のどこにもない資料に触れるられる貴重な機会がここにはある

新潟大学旭町学術資料展示館で
2022年9月7日(水)～11月4日(金)開催

企画展『原画から見る1980年代TVアニメ』

主 催 新潟大学旭町学術資料展示館、新潟大学アジア連携研究センター(アニメ・アーカイブ研究チーム)、新潟大学経済科学部

共 催 開志専門職大学アニメ・マンガ学部、LASALLE College of the Arts

本展は、奇跡的にその90パーセントが現存する『夢戦士ウイングマン』(1984-85)第12話の原画にスポットライトを当て、映像作家・五島一浩氏とともに1980年代のアニメ中間素材に秘められた創造性を呼び出す。

【関連イベント@新潟大学旭町キャンパス有壬記念館】

■アニメ中間素材シンポジウム①「1980年代テレビアニメを語る」

2022年9月10日(土)13:30～15:30

登壇者:勝間田具治(『夢戦士ウイングマン』シリーズディレクター)、渡部英雄(同演出)、木村智哉(開志専門職大学アニメ・マンガ学部)

■アニメ中間素材シンポジウム②

「アニメ中間素材の創造性:映像作家 五島一浩のメソッドを中心に」

2022年9月11日(日)13:30～15:30

登壇者:五島一浩、川西由里(島根県立石見美術館)、神村幸子(開志専門職大学アニメ・マンガ学部)

ディスカッサント:Dario LOLLI(Durham University)

■研究報告会「アニメ中間素材から再考するアニメ研究」

2022年10月2日(日)13:30～16:00

登壇者:板倉史明(神戸大学)、須川亜紀子(横浜国立大学)、米村みゆき(専修大学)、Sheuo Hui GAN (LASALLE College of the Arts)、松本淳(敬和学園大学)、今井博英(新潟大学)、三俣哲(新潟大学)、原田健一(新潟大学)、木村智哉(開志専門職大学)

のとと考えられています。本センターの資料やネットワークは海外の研究者も活用できるもので、学生たちがこの資料に触れた経験や得られた視点や学びは大きな自信になるものだと思います。世界のどこにもない資料に触れられる大変貴重な機会がここにはあるのです」（キム准教授）

「中間素材をみていくと、アニメ作品は誰かひとりのアーティストの名前に帰せるものではなく、非常に多くの人々の参加があつて成立しているものだと分かります。そのため著作権の複雑さが研究を進める上で課題のひとつになっています。私たちはそのような業界と分かれています。そのため著作権の複雑さが研究を進める上での課題のひとつになってしまいます。私たちにはそのような業界のルールやマナーに配慮し、信頼される研究と成果を発信しなければなりません。アーカイ

ブ構築は過去の整理ではなく、未来のためのもの。アニメ制作という文化を継承していくための意義があるので」（石田教授）

他大学が着手してこなかった先進的な研究が新潟大学で行われている。新潟大学アニメ・アーカイブ研究センターは、分野横断が可能な新潟大学の新たな研究力創造の一翼を担う。



2018年、シンガポールで行ったアニメ中間素材展覧会の会場の入り口(初日はオープニングのため夜まで続いた)



2019年、スウェーデン・ストックホルムで行ったアニメ中間素材展覧会のオープニングの様子



2022年3月にオンラインで開催されたアニメ中間素材をテーマとした国際シンポジウム(Zoom開催)

究拠点を新潟市に築くことを目標し、連携を図っていく。

(石田教授)

新潟市は多くのクリエイターを輩出してきたアニメ漫画の街ですが、これまで観光プロモーションの側面からスポット

を当てられること多かったよ

うに思います。地方の国立大

学でアニメ・アーカイブの整備、

研究が進むことで文化的な側

面を生み出すことが可能にな

ります。地方都市でこのよう

な動きが顕在化すると一気に求

を当てられることが多いよ

うに思います。地方の国立大

Enjoy! 学生ライフ

新潟大学の学生は、勉学はもちろん
部活やサークルなどの課外活動でも活躍しています。
このページではそんな青春の1ページをお届けします。



↑6月に開催された新入生を歓迎する「Welcomeライブ」(サークルの感染対策マニュアル等に基づき感染症対策を十分に行い実施)

アカペラサークル MUSE

ライブを目標にアカペラの楽しさを追求

楽器を用いず、声だけでメロディ、コード、リズムを表現するアカペラ。総勢116名という大所帯のサークル内には「洋楽」「バラード」などのテーマに分かれ、4~6名単位で活動するバンドが複数存在する。歌うことが好きで集まったメンバーたちが、さらに好きなジャンルや歌い方ごとに分かれてチームを組む。バンドは掛け持ち可能なので自由度の高い活動ができ、交流の幅が広がるのが魅力だ。「ライブを目標にして、同じ熱量を

持った仲間と一緒に活動できるのが楽しいです」と森川皓太さん。現在、有観客ライブはサークルメンバーのみで開催し、インスタライブでアカペラの魅力を広く配信する。演奏以外にもそれぞれがライブ運営の役割を担い、責任感が培われる。「バンド単位やサークル単位で個人の役割は異なります。ライブが成功すると大きな達成感が得られます。一人ひとりが自立して活動できる環境がとても良いと思います」と渡辺充喜さん。

場所は大学
近くなど五十
ンバス構内
練習に励む、
美しいハーモ
ニー



右:代表
森川皓太さん
(人文学部2年)

左:代表
渡辺充喜さん
(教育学部2年)



海林泰宏 教授

asuhiro Umebayashi
ofile 博士(理学)。専門は溶液化学、分析学、電気化学。溶液中の状態、そこで起きる現や機能について研究している。

基礎機器分析

定量的思考力を深める 理系の基礎となる

「代表的な機器分析の基本原理を学ぶとともに、その具体的な応用例を学び、分析対象と目的に応じて適切な分析法を選択できるようになる」ことを目指します。育んでほしいのは『定量的にもの』とを考へる力』。例えば、一口に赤色といつても世界には様々な赤色があり教授に聞いた。

意
大

意欲ある学生が伸び伸びと勉学に勤しむ

授業紹介

専門的な知識や技術の修得と、均整の取れた知識の獲得は教育の重要な役割。約5,000科目の中から特色ある授業を紹介。

理学部

ます。機器を使ってそれぞれの赤色を数値化すれば、その違いを比べることができます」

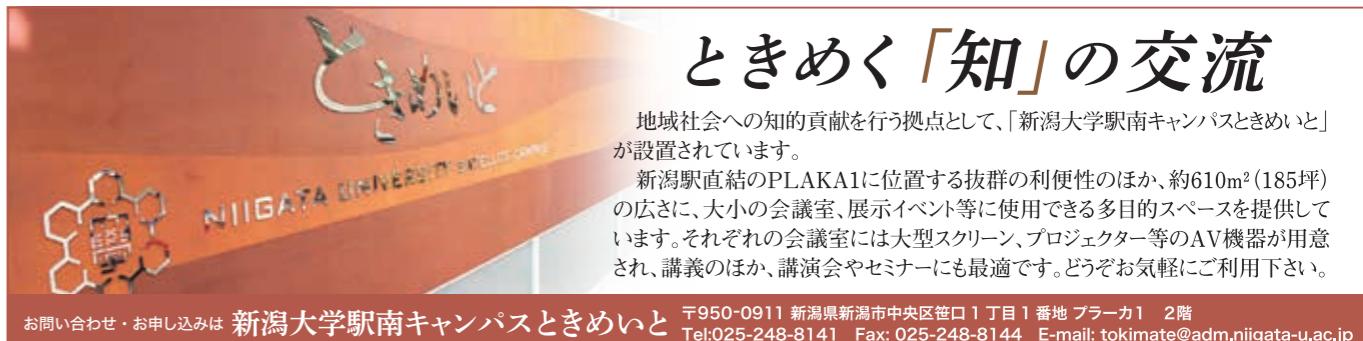
現在はオンラインで開講。前半は講義形式で測定原理の一般論について解説。後半になると学生はグループに分かれ、それぞれ興味を持つ分析法についてまとめる。その後、各測定法の原理、装置やいくつかの実際例を調べてプレゼンテーションを行う。発表の1週間前には、授業外で教員と事前打ち合わせを行い本番に挑む。

「学生に興味を持つてもらうために、主体的に考えざ

学生は理解を深めるために徹底した下調べが求められる。「調べる」「考える」を繰り返し、与えられた時間内にテーマを聴講者に理解してもらうための方法論を習得することが狙いだ。

「化学はテキストや板書を暗記すれば良いと思つてゐる学生もいますが、どれだけ地道に調べるかが重要。疑問が生じたらインターネットや書籍で調べて、どんどん知識を蓄え、考えてほしい。化学は『調べて、考えることが大切』だということを体感しながら学べる時間になるように心掛けています」

するスタイルを採用しています。学生には『ただのプレゼンではなく、教員の代わりと
思い責任を持つて他の学生が分析法を正しく理解できる
ように講義をしてほしい』と話しています」



ときめく「知」の交流

地域社会への知的貢献を行う拠点として、「新潟大学駅南キャンパスときめいと」が設置されています。

新潟駅直結のPLAKA1に位置する抜群の利便性のほか、約610m²(185坪)の広さに、大小の会議室、展示イベント等に使用できる多目的スペースを提供しています。それぞれの会議室には大型スクリーン、プロジェクター等のAV機器が用意され、講義のほか、講演会やセミナーにも最適です。どうぞお気軽にご利用下さい。

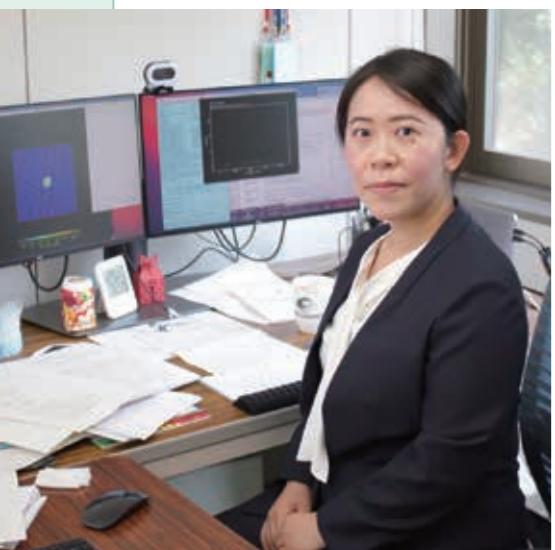
注目される 研究報告

新潟大学では、伝統的な学問分野を継承するとともに、専門分野を超えて連携し合う研究や、先端的な研究など、真理探究や社会の発展に貢献する研究を行っています。

研究
課題

超高解像度観測による高エネルギー天体现象(ブラックホール)の解明

不可視の天体・ブラックホールを
超高解像度で撮影する



創生学部
小山翔子 助教

| Profile | 博士(理学)。専門は電波天文学、宇宙物理学。巨大ブラックホールジェットの観測的研究を行っている。

100年以上前からインシュタインの『一般相対性理論』によって、非常に強い重力を持った天体として理論的に存在を予測されていたブラックホール。小山翔子助教は高解像度で天体を観測することができる「超長基線電波干渉計」を使ってブラックホールに関する研究を行っている。

「ブラックホールは誰もが知っている、知的好奇心が刺激される存在であ

る一方、光をも吸い込む漆黒の天体で、直接目で見ることはできません。観測できる装置がないことが研究の大きな課題でした。一部のブラックホールの周辺には強い重力で吸い込まれるガスで形成される降着流や、光速に近い速さで銀河の外へと噴出するジェットと呼ばれるプラズマ流が存在します。これらの観測可能な現象を捉え、物理的メカニズムを解明することがブラックホール研究の重要なテーマです」

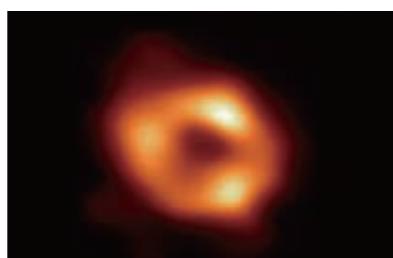
2017年からは「イベント・ホライズン・テレスコープ(EHT)」に参加。これは、世界各地の電波望遠鏡を繋ぎ合わせた地球サイズの望遠鏡を仮想的に構築し、ブラックホールを撮影する国際プロジェクトだ。そして2019年、精円銀河M87の中心にある巨大ブラックホール撮影成功を発表。世界中に大きなインパクトを与えた。また、今年5月には天の川銀河の中心にあるブラックホール、いって座A*(エースター)の撮影成功を発表。小山助教は画像化作業班に加わり、ブラックホールの存在を視覚的に証明した。

「2017年4月に撮影した観測データから、M87に続く2例目として、今回いて座A*を画像化することができました。私たちが暮らす天の川銀河とブラック

ホールの関係性を探る、貴重な手がかりになると考えています」

この4月には小山助教の提案でEHTを活用したブラックホールの周辺から高速でプラズマガスを噴出するジェットと呼ばれる現象の観測も行われた。

「ブラックホールをエネルギー源とする天体が、ガンマ線やX線などの超高エネルギーをどのように放射しているのかを超高解像度で撮像し、その原理を探っています。未だに多くの謎に満ちているブラックホールの仕組みの解明に挑戦し続けます」



↑天の川銀河中心のブラックホールの画像。中央部分がブラックホールの強力な重力により作り出された「ブラックホールシャドウ」と呼ばれる影
©EHT Collaboration



↑EHT望遠鏡配置図(2018年以降)。いて座A*等を撮影した2017年の8局から増え現在は11局に。「1億年に1秒しか誤差がない」といわれる原子時計を用いて撮影される
©NRAO/AUI/NSF

お問い合わせ先 新潟大学キャンパスライフ支援センター・キャリア・就職支援オフィス

新潟大学キャンパスライフ支援センター・キャリア・就職支援オフィス

CAN システム

卒業生と新潟大学生をつなぐ、キャリア形成サポートの新しいカタチ！
卒業生と学生をつなぐ CAN システム

CANシステムとはWeb上のシステムを介して、学生の就職活動やキャリア形成をサポートしていただくシステムです。
社会の先輩として学生たちの悩みや不安にアドバイスをお聞かせください！

卒業生の皆様のご登録をお待ちしています！

新潟大学 CAN システム

検索

URL <https://www.career-center.niigata-u.ac.jp/>

研究
課題

歯周病の原因と治療法 ～免疫と再生～

抗炎症タンパク質「DEL-1」の機能応用し 健康長寿に寄与する新しい治療法の確立へ

「世界で最も患者数の多い病気」に認定されている歯周病は、日本人が歯を失う原因の第1位であり、全身を侵す様々な疾患を誘発するとも言われている。前川知樹准教授は、歯周病のメカニズム解明、炎症の抑制や口腔組織の修復、再生療法について幅広い研究を進めます。

「歯周病は感染症のひとつで、歯の表面に歯垢(ブラーク)が蓄積し歯周



大学院医歯学総合研究科(歯)
前川 知樹 准教授

| Profile | 博士(歯学)。専門は免疫学、骨代謝学。
基礎研究から臨床開発まで幅広く取り組む。

病原菌が停滞することで歯肉が腫れ、進行すると歯を支える組織や骨を破壊します。また、口の中に定着している細菌が血液に侵入することで、肺炎や動脈硬化などの発症・増悪にも影響を及ぼします。歯周病の原因や細菌の構造を明らかにし、炎症を抑制する方法や治療法の確立に取り組んでいます」

前川准教授が着目したのは、体内で產生され抗炎症作用をもつタンパク質「DEL-1」。歯周病に罹患したマウスやサルにDEL-1を接種した結果、炎症や破骨細胞による骨吸収が抑制された。

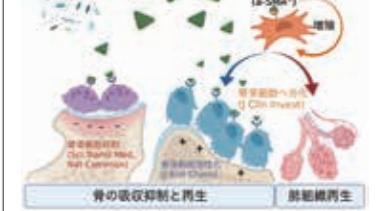
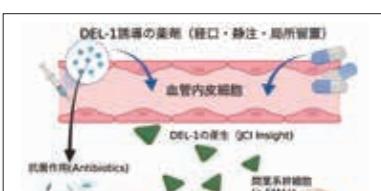
「骨を含む歯周結合組織の破壊は、生体内で増殖・活性化した『好中球』が原因です。研究を進める中でDEL-1が好中球の過度な遊走を阻止して炎症を抑制することや、骨吸収を抑制し骨の形成を促進する機能があることをつきとめ、その後DEL-1のシグナル経路を発見しました。細菌のバランスや歯周病の指標がヒトと近いサルを用いた実験を通して、その効果や有効性を実証できたことからも、ヒトにおける歯周病治療に応用できると考えています」

米国での研究員時代から世界各国のチームと共同研究を行うなど、DEL-1の可能性についてあらゆる分野の専門家と意見を交わし、産学連携も推進してきた前川准教授。基礎研究で得られ

た成果を発展させるべく、DEL-1を導する新規薬剤の開発にも注力する。

「加齢に伴い分泌量が減少していくDEL-1を安全かつ簡単な方法で体内に作り出すことができれば、骨の再生や骨吸収の抑制が期待できます。現在は製薬会社と連携し錠剤の開発と実用化を目指しています。メカニズムの解明と並行して、それを臨床現場へとつなげていくことで、歯周病はもちろん、炎症性疾患を抱える多くの方々の治療に貢献していきたいです」

政府が「国民皆歯科健診」の導入を検討するなど、口腔ケアの重要性は年々高まっている。超高齢社会において、歯周病とその関連疾患の制御は必要不可欠なものであり、健康寿命の延伸を実現する上で大きなカギになることだろう。

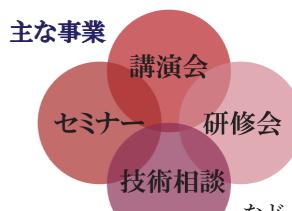


企業の技術向上を目指す産学官交流ネットワーク **新潟大学産学連携協力会**

新潟大学地域創生推進機構と産業界等が密接に連携し、
産業の活性化、高度化、地域社会の発展を目的に
技術の向上及び地域連携を図ります。

お問い合わせ先

新潟大学産学連携協力会 (新潟大学地域創生推進機構内) TEL 025-262-7553 FAX 025-262-7577 Email unico@cer.niigata-u.ac.jp



平

成15年に成立した日本の個人情報保護制度は、主に民間部門を規律する「個人情報の保護に関する法律」と行政機関を規律する「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」と国立大学法人を含む独立行政法人等を規律する「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」の3つの法律と、地方公共団体を規律する2000を超える「個人情報保護条例」で構成されていました。

同一の制度でありながら、「個人情報等の定義をはじめ義務規定や例外、適用除外、罰則などの条項の不統一」がみられ、権限もその数だけ併存し、それぞれの首長等が法執行していました。国内においてはデータの自治体越境問題を引き起こし、国際的にはEU等との越境データ問題において日本全体を代表して交渉する権限を国に一本化できず日本欧のデータ流通を阻害する要因の一つともなっていました。

このことが顕著に問題として発現したのが、東日本大震災でした。図1にみるように、病院のカルテやレセプト、その他のデータを規律す

るルールがバラバラで統一されておらず、利用目的の範囲内か、例外にあたるかの解釈を行い、医療データ等に関して命令、通達できる権限をもった長が、厚生労働大臣の他に総務大臣、それから災害エリアに10人ほどの首長が併存する状態になっていました。そのため、データ流通の目詰まりが起き、病院に収容されながらも適時に必要な情報にアクセスできず適切な治療を施せずに命を失う事態が発生していました。

およそ人の死という重大事案が発生したにも関わらず、震災後も権力分立の高い意義と地方分権を前進させてきた碩学や先人の大きな成果を前に、自治体も学界も立法・行政の課題として設定できず、何がどう脅威なのかの事案の分析もできぬ中で

ころがありました。

私は、こうした状態を「個人情報保護法制2000個問題」と命名し、官邸や規制改革会議や行政にその解消を訴えてきましたが、なかなか解決に至らぬまま約10年が経過し、度は新型コロナ感染症に見舞われながらも適時に必要な情報にアクセスできず適切な治療を施せずに命を失う事態が発生していました。

政府は2000個問題解消の必要性を認識し、令和3年に個人情報保護法の大改正を行いました。いわゆる公民一元化と言われていますが、権限を個人情報保護委員会に集約しました。

図2のとおり、2000以上あるルール群を一つの法典に収め、その

図2のとおり、2000以上あつた同様の問題に直面するに至ったわけです。

徒に監視国家論を唱え権力分立の重

要性という抽象論に終始していたと

ころがありました。

私は、こうした状態を「個人情報

保護法制2000個問題」と命名し、

官邸や規制改革会議や行政にその解

消を訴えてきましたが、なかなか解

決に至らぬまま約10年が経過し、

度は新型コロナ感染症に見舞われ

ながらも適時に必要な情報にア

クセ

っています。

私は、こうした状態を「個人情報

保護法制2000個問題」と命名し、

官邸や規制改革会議や行政にその解

消を訴えてきましたが、なかなか解

決に至らぬまま約10年が経過し、

度は新型コロナ感染症に見舞われ

ながらも適時に必要な情報にア

クセ

っています。

私は、こうした状態を「個人情報

保護法制2000個問題」と命名し、

官邸や規制改革会議や行政にその解

消を訴えてきましたが、なかなか解

決に至らぬまま約10年が経過し、

度は新型コロナ感染症に見舞われ

ながらも適時に必要な情報にア

クセ

っています。

私は、こうした状態を「個人情報

保護法制2000個問題」と命名し、

官邸や規制改革会議や行政にその解

消を訴えてきましたが、なかなか解

決に至らぬまま約10年が経過し、

度は新型コロナ感染症に見舞われ

ながらも適時に必要な情報にア

クセ

っています。

私は、こうした状態を「個人情報

保護法制2000個問題」と命名し、

官邸や規制改革会議や行政にその解

消を訴えてきましたが、なかなか解

決に至らぬまま約10年が経過し、

度は新型コロナ感染症に見舞われ

ながらも適時に必要な情報にア

クセ

っています。

私は、こうした状態を「個人情報

保護法制2000個問題」と命名し、

官邸や規制改革会議や行政にその解

消を訴えてきましたが、なかなか解

決に至らぬまま約10年が経過し、

度は新型コロナ感染症に見舞われ

ながらも適時に必要な情報にア

クセ

っています。

私は、こうした状態を「個人情報

保護法制2000個問題」と命名し、

官邸や規制改革会議や行政にその解

消を訴えてきましたが、なかなか解

決に至らぬまま約10年が経過し、

度は新型コロナ感染症に見舞われ

ながらも適時に必要な情報にア

クセ

っています。

私は、こうした状態を「個人情報

保護法制2000個問題」と命名し、

官邸や規制改革会議や行政にその解

消を訴えてきましたが、なかなか解

決に至らぬまま約10年が経過し、

度は新型コロナ感染症に見舞われ

ながらも適時に必要な情報にア

クセ

っています。

私は、こうした状態を「個人情報

保護法制2000個問題」と命名し、

官邸や規制改革会議や行政にその解

消を訴えてきましたが、なかなか解

決に至らぬまま約10年が経過し、

度は新型コロナ感染症に見舞われ

ながらも適時に必要な情報にア

クセ

っています。

私は、こうした状態を「個人情報

保護法制2000個問題」と命名し、

官邸や規制改革会議や行政にその解

消を訴えてきましたが、なかなか解

決に至らぬまま約10年が経過し、

度は新型コロナ感染症に見舞われ

ながらも適時に必要な情報にア

クセ

っています。

私は、こうした状態を「個人情報

保護法制2000個問題」と命名し、

官邸や規制改革会議や行政にその解

消を訴えてきましたが、なかなか解

決に至らぬまま約10年が経過し、

度は新型コロナ感染症に見舞われ

ながらも適時に必要な情報にア

クセ

っています。

私は、こうした状態を「個人情報

保護法制2000個問題」と命名し、

官邸や規制改革会議や行政にその解

消を訴えてきましたが、なかなか解

決に至らぬまま約10年が経過し、

度は新型コロナ感染症に見舞われ

ながらも適時に必要な情報にア

クセ

っています。

私は、こうした状態を「個人情報

保護法制2000個問題」と命名し、

官邸や規制改革会議や行政にその解

消を訴えてきましたが、なかなか解

決に至らぬまま約10年が経過し、

度は新型コロナ感染症に見舞われ

ながらも適時に必要な情報にア

クセ

っています。

私は、こうした状態を「個人情報

保護法制2000個問題」と命名し、

官邸や規制改革会議や行政にその解

消を訴えてきましたが、なかなか解

決に至らぬまま約10年が経過し、

度は新型コロナ感染症に見舞われ

ながらも適時に必要な情報にア

クセ

っています。

私は、こうした状態を「個人情報

保護法制2000個問題」と命名し、

官邸や規制改革会議や行政にその解

消を訴えてきましたが、なかなか解

決に至らぬまま約10年が経過し、

度は新型コロナ感染症に見舞われ

ながらも適時に必要な情報にア

クセ

っています。

私は、こうした状態を「個人情報

保護法制2000個問題」と命名し、

官邸や規制改革会議や行政にその解

消を訴えてきましたが、なかなか解

決に至らぬまま約10年が経過し、

度は新型コロナ感染症に見舞われ

ながらも適時に必要な情報にア

クセ

っています。

私は、こうした状態を「個人情報

保護法制2000個問題

〈団体〉 愛知学院大学顎面外科 愛知学院大学歯学部顎口腔外科学講座 一般社団法人愛媛県歯科医師会 会津中央病院歯科麻酔科
 一般社団法人青森県歯科医師会 ECGラボ 竹内仁史 医療法人伊東会伊東歯科口腔病院 大阪歯科大学同窓会 鹿児島大学歯学部同窓会
 株式会社セキムラ 公益財團法人国際医療財団 理事長瀬戸院一 一般社団法人国際歯科医療安全機構 理事長瀬戸院一 医療法人社団古正寺ファミリー歯科
 埼玉県歯科口腔外科 医療法人湘誉会 及古吉歯科医院 医療法人社団仁優会 竹下 賢仁 一般社団法人鶴岡地区歯科医師会 一般社団法人鳥取県歯科医師会
 一般社団法人新潟市歯科医師会 取締役社長廣田幹人 新潟大学歯学部同窓会 新潟大学小児歯科学分野
 一般社団法人木工歯科医師会 ヘンリーシヤンジャパンイースト株式会社 星野電気株式会社 松本歯科大学歯科美学講座
 一般社団法人見附市歯科医師会 一般社団法人宮崎市歯科医師会 宮崎歯科福祉センター みらい歯科クリニック 甘利 高典 匿名希望4団体

プロジェクト名:パーキンソン病の病態解明を目指して、アフリカメガラを使った研究をプロジェクト実行責任者:松井 秀彰

〈個人〉 秋元 慎介 浅川 修一 沖松 博子 池田 美久子 石川 省吾 石原 久司 井手田 篤 稲垣 千代子 植田 有子
 内山 真樹 川又 幸恵 謙田 昌子 神成 康二 草野 慎一郎 土肥 栄祐 洪里 勝信 近藤 明美 佐々木 孝一
 佐藤 隆久 佐藤 八重子 清水 正昭 清水 薫 菅井 良樹 竹内 恵 田中 啓介 玉木 朋子 辻 道孝
 堂本 よし子 中西 あすか 仁井 内 大崇 野上 徹 橋本 さとよ 服部 真二 撮磨 良知 人見 琢也 福永 想夕
 藤田 祐之 藤林 和城 本間 拓二郎 真木 久美子 ますだ ようこ 松澤 晓子 松村 拓朗 松本 佳乃 丸山 淳一
 宮川 五月 宮崎 佐弥香 村角 謙一 山下 由里子 山田 知佳 山中 功一 吉岡 真紀子 米川 宏一 匿名希望116名

〈団体〉 医療法人社団茜会 理事長 藤田長久 全国パーキンソン病友の会 鹿児島県支部 全国パーキンソン病友の会 新潟県支部会長 最上憲夫
 全国パーキンソン病友の会 宮崎県支部 千葉県パーキンソン病友の会 赤松 株式会社ツバキ薬業
 星野電気株式会社 株式会社ミヤトウ野草研究所 株式会社名東園 MEITO system 匿名希望1団体

プロジェクト名:新潟大学から日本酒研究の世界的拠点を生む!日本酒学プロジェクト/プロジェクト実行責任者:鈴木 一史

〈個人〉 TSENG KUOCHE Yiu Kenny 相澤 靖 赤松 慎也 浅田 星太郎 東 義一 粕村 真人 安藤 勝利 五十嵐 利輝
 池乘 真己 生駒 龍史 石井 美登里 石崎 雅史 石塚 千賀子 泉 一郎 磐野 真言 板橋 正 伊藤 真紀子
 今井 和幸 岩崎 伸一 岩野 春男 岩本 健寿 上田 英明 植松 純子 白井 智徳 内山 哲也 内海 輝
 江崎 篤士 橋本 正夫 遠藤 真一 応微OB YN 大島 卓也 大瀬 由紀子 大嶽 雄一郎 大辻 節子 岡村 隆行
 小野澤 浩行 加藤 政夫 上村 洋 亀野 雅紀 笠原 信夫 木下 秀喜 木村 聰貴 木村 聰
 倉重 達也 小池 潤 合田 孝 神戸 勝彦 小島 広之 小林 直紀 小堀 樹一郎 齋藤 俊太郎
 斎藤 道明 酒井 史彰 櫻井 洋資 笹口 亮介 佐藤 英樹 鈴木 章生 鈴木 聖袈 鈴木 隆志
 鈴木 輝雄 鈴木 雅史 曾根 博仁 高尾 俊彦 高橋 隆昌 武川 奈生 武田 敏英 竹田 美春
 田中 伸至 田中 敏惠 田中 真美 谷 直樹 辻 博之 堤 誠司 デュケット 智美
 遠山 和敏 長井 隆 中澤 孝友 中島 太一 仲野 重人 永野 邦明 長濱 敏也 長藤 孝修
 中村 弥生 南雲 歩 新野 亜紀子 二戸 浩平 野内 昭宏 野村 純一 萩原 恵子 長谷川 金義
 羽田野 智也 伴一陽 堀口 直樹 藤原 雅俊 人見 琢也 平田 大六 幕間 洋子 藤沢 健司
 藤山 敦史 二神 泰基 古谷 純一 逸見 駿正 堀 勝三 三上 和成 水口 和之 水間 秀一
 峰政 祐己 村松 稔文 八木 崇博 山口 裕一 山下 一郎 山田 武志 山本 正明 湯田 浩司 吉岡 真紀子
 吉川 裕貴 吉田 悠 渡辺 健太 匿名希望74名

〈団体〉 青木酒造株式会社 朝日酒造株式会社 アズサイエンス株式会社 株式会社飯田
 池浦酒造株式会社 石本酒造株式会社 尾瀬酒造株式会社 オフィス株式会社
 下越酒造株式会社 有限会社加藤酒造店 河忠造株式会社 菊水酒造株式会社
 久須美酒造株式会社 株式会社ケンテック 塩川酒造株式会社 新洋技研工業株式会社
 大洋酒造株式会社 高の井酒造株式会社 株式会社タケショウ 千代の光酒造株式会社
 天津米和水の故事文化传播有限公司 天領盃酒造株式会社 株式会社トヤマデータセンター新潟支店
 株式会社苗場酒造 新潟銘醸株式会社 八海醸造株式会社 株式会社プロメディア新潟
 株式会社北雪酒造 羽豆大 星野電気株式会社 株式会社丸山酒造場 緑川酒造株式会社
 株式会社北雪酒造 羽豆大 雪椿酒造株式会社 吉乃川株式会社 代々菊醸造株式会社
 株式会社山下PMC 雪椿酒造株式会社 吉乃川株式会社 匿名希望3団体

新潟大学サポーター俱楽部

■目的 繼続して新潟大学を支援するため、俱楽部年会費の全額を「新潟大学基金」に寄附します。
 また、会員様へ本学の情報発信を行い、新潟大学と会員及び地域社会との連携と発展を目指します。

最新の会員名簿は、以下のURLからご覧いただけます。
<https://www.niigata-u.ac.jp/university/donation/supporters/>

■寄附者名簿 (R4.3~R4.5入会・更新分)※(50音順 敬称略)

【新規】〈個人〉 小林 俊裕 〈団体〉 サントリービバレッジソリューション株式会社 新潟信用金庫
 【更新】〈個人〉 大滝 一 岡村 光展 川村 剛 斎藤 正志 品田 浩一 清水 誠 多和田 孝雄 寺田 剛 廣澤 利幸 山鹿 幸恵
 〈団体〉 あいおいニッセイ同損保険株式会社 株式会社井伊製作所 株式会社遠藤製作所 育児放送
 税理士法人近藤まこと事務所 育児放送
 株式会社有沢製作所 育児放送
 株式会社ウオロク 育児放送
 税理士法人小川会計 育児放送
 株式会社キタック 育児放送
 株式会社コロナ 育児放送
 JCCソフト株式会社 育児放送
 ダイエープロビス株式会社 育児放送
 株式会社タカヨシ 育児放送
 中越トラベル朝日交通株式会社観光部 育児放送
 有限会社東京プリント社 育児放送
 株式会社南雲製作所 育児放送
 新潟総合警備保障株式会社 育児放送
 西田建設株式会社 育児放送
 原信ナルスオベレーションサービス株式会社 育児放送
 新潟税理士法人深瀬合同事務所 育児放送
 北越工業株式会社 育児放送
 株式会社マルイ 育児放送
 株式会社リビングギャラリー 育児放送
 新潟ニッタン株式会社 育児放送
 日本精機株式会社 育児放送
 株式会社BSNアンドエヌ 育児放送
 株式会社福田組 育児放送
 北陸ガス株式会社 育児放送
 株式会社メビウス 育児放送
 新潟県信用組合 育児放送
 株式会社新潟博報堂 育児放送
 株式会社ハイングランフ 育児放送
 株式会社ヒュラ 育児放送
 株式会社フジミック新潟 育児放送
 星野電気株式会社 育児放送
 弥彦村 育児放送
 株式会社ナカムラ 育児放送
 株式会社新潟ケンペイ 育児放送
 株式会社新潟ビルサービス 育児放送
 株式会社博進堂 育児放送
 株式会社ひらせいホームセンター 育児放送
 株式会社ブルボン 育児放送
 株式会社本間組 育児放送
 株式会社横瀬オーディオ新潟営業所 育児放送
 匿名希望3団体

新潟大学リサイクル募金

■目的 皆様から読み終えた本・DVD等をご提供いただくと、その査定額が新潟大学に寄附されます。寄附金は学生の修学支援をはじめとした事業に役立てられます。

■寄附者 (R4.3~R4.5寄附入金分) 〈個人〉 14名 〈団体〉 11団体

あなたかいご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
 「興味がある」「詳しく知りたい」「寄附したい」とお考えの皆様へ

詳しい資料をお送りいたしますので、お問い合わせまでご連絡願います。新潟大学ホームページでも詳細をご覧いただけます。

お問い合わせ先 新潟大学サポーター連携推進室 TEL 025-262-5651・6010・6356 E-mail kikinjimu@adm.niigata-u.ac.jp
 H P <https://www.niigata-u.ac.jp/university/donation/>

ー学生の輝く未来を共に創るー 基金関係のお知らせ

地域の中核を担い国際社会で活躍する人材を輩出するため、
 「学生の修学支援」「国際交流」「教育施設整備」の推進を目指しています。

新潟大学まなび応援基金

■目的 経済的理由により修学が困難な学生に対して、修学支援事業を行います。
 令和2年度からは、「輝け未来!新潟大学入学応援奨学金」「新潟大学大学院博士課程奨学金」「新潟大学修学応援特別奨学金」及び「新潟大学学業成績優秀者奨学金」の支援に加え、「新型コロナ対策緊急学生サポートパッケージ」により、修学・学生生活支援及び経済支援を行っております。

■寄附者名簿 (R4.3~R4.5寄附入金分)※(50音順 敬称略)

〈個人〉 岡村 光展 勝井 豊 小林 七雄 佐藤 純一 下岡 靖宣 田子 悟史 長倉 成憲 庭山 昌俊 長谷川 進 松澤 澄江 山崎 秀 吉田 滋
 〈団体〉 一般社団法人インフォカート未来基金 新潟大学学務部 匿名希望14名

～優秀な大学院生の研究を応援～ 新潟大学研究等支援基金

■目的 学生等又は不安定な雇用状態にある研究者への研究等を支援する事業を行います。令和4年1月に創設し、「新潟大学フェローシップ支援」「未来のライフル・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト」により、大学院生の研究費支援を行っております。

■寄附者名簿 (R4.3~R4.5寄附入金分)※(50音順 敬称略) 〈個人〉 福島 健泰 匿名希望4名

新潟大学基金

■目的 新潟大学の基盤整備、企業や地域社会との連携、教育・研究活動支援、国際交流活動支援、学生のための厚生施設整備などを推進する事業を行います。

■寄附者名簿 (R4.3~R4.5寄附入金分)※(50音順 敬称略)

〈個人〉 朝井 喜隆 東 伸彦 阿部 幹司 安部 隆 新井 敦 新川 恒夫 井浦 幸雄 五十嵐 友子 井手 協太郎
 真野 広 井上 重行 今井 ありん 今井 かおり 今井 武志 今口 正一 石見 鉄夫 上松 正次 遠藤 勝敏
 大川 秀雄 大沼 博幹 大山 俊之 小川 齊 小川 宏 奥潤一 押井 博也 笠原 貞子
 勝井 豊 鹿執 晋二 上村 定夫 亀山 徹 川口 常昭 菅間 達彦 金城 麻紀 合田 正毅
 後藤 昌博 小林 アサ 近 信雄 斎藤 弘 萩原 弘 太藤 高大 佐藤 尚映 佐藤 卓正
 佐野 康治 重盛 賢二 岐崎 田鶴子 清水 寛之 菅原 秀仁 須藤 達美 住田 孝二 豊川 智
 高橋 哲郎 滝澤 哲也 滝澤 義之 田崎 国史 鶴野 文則 田辺 謙二 月山 陽介 土田 克則
 寺田 剛 戸政光 長倉 成憲 中倉 满帆 長嶋 直人 中谷 高広 中野 信男 中村 有花
 西田 行宏 野口 英征 野村 智幸 長谷川 富市 蜂巣 早苗 原田 純仁 兵藤 雅己 福島 健泰
 藤木 達広 藤田 隆 藤田 長久 舟木 章 古井 傅一 古川原 誠 町村 美奈子 松井 大輔
 松山 勇仁 丸山 道男 丸山 喜一 丸山 隆明 丸山 秀幸 水戸部 和久 御供 敏英 皆川 透
 宮川 洋一 宮島 裕 三輪 正明 森田 和人 八木 道生 山内 健 峯岸 晴正 山崎 秀
 横山 恒 吉田 典正 吉田 典正 吉田 勲 渡部 博 北山 修 横山 修
 吉田 澄也 吉田 澄也 吉田 典正 吉田 宏一 匿名希望63名

〈団体〉 越後ファーム株式会社 エヌシーアーイー株式会社

株式会社クラレ新潟事業所 株式会社コーン

株式会社三機械製作所

サントリービバレッジソリューション株式会社 S35工業化学生卒同組会(懇親会)

株式会社中越加工 株式会社富士通フロンティック

株式会社リケン柏崎事業所

富士通フロンティック株式会社有志一同

株式会社コロナ

公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会新潟県協会

新潟県立加茂高等学校

新潟太陽誘電株式会社

三星工業株式会社

株式会社光邦テインティング

匿名希望9団体

プロジェクト名:クラウドファンディング

プロジェクト名:心臓病患者さんの快適な生活のために。新潟県の医療者の学びを支えたい/プロジェクト実行責任者:猪又 孝元

〈個人〉 会田 正和 石塚 光夫 和泉 徹 磯部 真倫 出塚 次郎 伊藤 正一 伊藤 正洋 猪又 初夫 宇賀 恵里菜
 遠藤 泰一郎 大倉 裕二 大西 昌之 小川 祐輔 岩田 一郎 小田 隆 伊藤 晃美 小幡 裕明 笠井 英裕
 笠井 康裕 勝海 悟郎 加藤 公則 神谷 健太郎 上村 伯人 鶴田 知明 神田 直美 菊池 潤子
 木村 泰一郎 木村 基通 小玉 誠 古寺 邦夫 小村 悟 小山 聰 佐藤 匠一 品田 章二
 株式会社ウイザップ 株式会社エヌ・シー・エス NECネットエスアイ株式会社新潟支店 株式会社NST新潟総合テレビ
 株式会社カネコ商会 株式会社カネコ商会 株式会社カネコ商会
 グリーン産業株式会社 グローバルウェーハーズ・ジャパン株式会社 株式会社コメリ
 株式会社サトウフードシステム 株式会社三條機械製作所
 総和建設株式会社 第一建設工業株式会社
 株式会社たかの 田中運送株式会社
 太平ビルサービス株式会社新潟支店
 田村紙商事株式会社
 東京海上日動火災保険株式会社新潟支店
 株式会社東邦アーステック
 株式会社中西製作所新潟営業所
 株式会社ナカムラ
 株式会社新潟ケンペイ
 株式会社新潟ビルサービス
 株式会社博進堂
 株式会社ひらせいホームセンター
 株式会社ブルボン
 株式会社本間組
 株式会社横瀬オーディオ新潟営業所
 匿名希望79名

〈団体〉 一の宮調剤薬局 豊島善 医療法人社団KOM おかむら内科下町クリニック 柏崎総合医療センター クロスウィルメディカル株式会社

長岡中央総合病院 新潟県厚生農業協同組合連合会 新潟医療センター 新潟南

Campus Information

地域に密着しながら様々な活動を続ける新潟大学。皆さんにお伝えしたいニュースはたくさんあります。

医歯学図書館リニューアルオープン記念式典を開催しました

本学医歯学図書館は、改修工事後のリニューアルオープンを記念し、2022年5月25日に記念式典を開催しました。医歯学図書館の建物は、1982年に竣工し、2000年に放送大学新潟学習センターと合築し、増改築が行われました。2021年度にアクティブ・ラーニングスペースや、個人学習のための学習室の整備、バリアフリー対応などを目的に改修工事が行われ、2022年4月7日にプレオープンを迎えていたものです。改修工事では、能動的学习のためのラーニング・コモンズと個人学習のための静謐な学習室の再配置を行い、新しく「24時間学習エリア」、「クワイエット学習室(会話禁止、キーボード・電卓使用可能)」、「サイレント学習室(会話禁止、キーボード・電卓使用不可)」といった様々な学習スタイルに対応できるスペースを整備しました。式典当日は、放送大学新潟学習センター所長にご参列いただくとともに、本学からは学長、理事をはじめ旭町地区の各部局長など15名が参列しました。はじめに田沼順一医歯学図書館長の開会挨拶の後、牛木辰男学長と染矢俊幸医歯学系長から祝辞が述べられ、続いて田沼医歯学図書館長からリニューアルの特徴について説明がありました。その後正面玄関にて、牛木学長、澤村明学術情報基盤機構長、染矢医歯学系長、田沼医歯学図書館長によるテープカット式が行われました。



ロボコンプロジェクトがNHK学生ロボコン大会2022に出場し 2年連続決勝トーナメント進出(ベスト6)、特別賞を受賞しました



「NHK学生ロボコン2022」が2022年6月12日に大田区総合体育馆(東京都)で3年ぶりに有観客で開催され、本学工学部附属工学力教育センター開講科目「ものづくりプロジェクト」で活動しているロボコンプロジェクト(科学技術研究部)が出場しました。今年の競技課題は、インドの人々が昔から慣れ親しんできた遊び「ラゴリ」という屋外ゲームをモチーフとされました。ラゴリは2つのチームに分かれて行われます。一方のチームが「シーカー」、そしてもう一方のチームが「ヒッター」と呼ばれ、シーカーがボールを投げてラゴリと呼ばれる石の塔を崩すことから始まります。シーカーが再び石を積み上げる間、ヒッターはボールを相手チームに当てて積み上げを妨害します。各参加チームは2台のロボットを作成し、石の塔に見立てた発泡ウレタン製のディスクを崩し、積み上げる動作を90秒以内に行います。その間、相手のロボットから発射されるボールの妨害から逃げなければなりません。学生ロボコンでは初めて、相手のロボットに向けてボールを発射するというルールが採用され、実際の試合も、状況に応じてロボットの動きを変化させるという非常に戦略的なものになりました。予選リーグでは京都工芸繊維大学と2度対戦。一勝一敗となったものの、得点差で決勝トーナメント進出(ベスト6)を果たしました。決勝トーナメントに進出するのは2年連続となります。決勝トーナメントでは今年の優勝校である豊橋技術科学大学に敗れはしたものの、ディスクを機体の内部に設けられた仕切りに収納し、一気に積むというアイディアが評価され、トヨタ自動車株式会社様より特別賞をいただきました。

感染管理認定看護師教育課程(B課程)入講式を開催しました

本学大学院保健学研究科では、同研究科に設置した保健医療高度専門職教育センターにおいて、感染管理認定看護師教育課程(B課程)を開講し2022年7月4日に入講式を開催しました。本教育課程は、新潟県からの委託を受けて開講するものです。認定看護師制度は、公益社団法人日本看護協会が認定するもので、特定の看護分野における熟練した看護技術及び知識を用いて、あらゆる場で看護を必要とする対象に、水準の高い看護実践のできる認定看護師を社会に送り出すことにより、看護ケアの広がりと質の向上をはかることを目的としています。本教育課程(B課程)は、従来の認定看護師教育課程(A課程)に加え、特定行為研修を組み込んでいる教育課程であり、新潟県内では初の開講です。入講式には、第1期生となる研修生15名と小山諭・本学大学院保健学研究科長／同研究科保健医療高度専門職教育センター長、斎藤有子・新潟県看護協会長、山田寛明・新潟県福祉保健部医師・看護職員確保対策課長、杉田洋子・本学医歯学総合病院看護部長ほか、大学関係者が出席しました。小山センター長の挨拶では、研修生に向け「それぞれの医療機関で感染管理部門や地域の感染管理をリードし牽引していく立場になることと思う。本課程は1年と長丁場であるが、自信を持ってかつ楽しく学んでいただきたい」旨の励ましの言葉がありました。研修生代表からは「感染管理分野における質の向上を実践するために全力で精進したい」との宣誓がありました。研修生は、この7月から1年間をかけて、eラーニングを含む講義、学内等での実技演習、本学医歯学総合病院(特定行為研修指定機関)及び協力施設での臨地実習を経て、本課程を修了した後、来年秋に実施される認定試験を受験し、合格を目指します。

